

タイトル：基幹研究「アフリカ文化研究に基づく多元的世界像の探求」平成 24 年度第 6 回公開セミナー

日時：平成 25 年 1 月 15 日（火曜日） 午後 6 時 00 分より午後 8 時 00 分

会場：AA 研マルチメディア会議室（304）

報告者：織田雪世氏（日本アフリカ学会）

報告タイトル：「ヘアサロンからみる現代ガーナ女性：美容師業がひらく新たなジェンダー関係の可能性」

ガーナ都市部では、色鮮やかに塗られたヘアサロン（以下サロン）の多さによりしばしば驚かされる。サロンがここまで増えたのは 1990 年代以降のことであり、美容師と客は、ともに若い女性を中心である。

ガーナ南部地方は、もともと、女性が商業などの経済活動を活発に行うことで知られてきた。この地方では妻と夫が別々に収入を管理するうえ、結婚関係が比較的不安定でもあるため、女性も働いて自分や子どもの生活を安定させることが必要不可欠とされている。ただし女性の立場は、近代化等の社会経済変化のもとで、悪化しつつあると指摘されていることも事実である。こうした中で女性美容師が急増した背景には、いったい何があるのだろうか。

発表者は 2000 年代前半のガーナで、計約 3 年間のフィールドワークを行い、女性美容師の姿を通して、現代ガーナ都市女性の生き方の一端を明らかにすることを試みてきた。この調査結果をもとに、今回の講演では、1) ガーナ都市部でいま何が起きているのかをサロンの増加数と共に示した。そして、2) サロンで働く女性たちが、美容師という近代的な職業を通して、どのようなジェンダー関係を切り拓きつつあるのかを、サロンにおける労働形態や美容師の専門職化から具体的に示した。

*当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。Copyrighted materials of the authors.